

青梅市・ボッパルト市姉妹都市提携60周年記念友好親善使節団

ボッパルト市訪問の報告



ボツパルト市訪問の概要

○期間 令和7年10月2日(木)から8日(水)まで

○使節団の構成(31人)

- ・市長部局 市長、秘書広報課長
- ・青梅市議会 議長、総務企画委員長、議会事務局長
- ・教育委員会事務局 生涯学習部長
- ・各種団体代表 青梅市観光協会会長
西東京農業協同組合代表理事組合長
青梅商工会議所監事
青梅市スポーツ協会専務理事
- ・青梅・ボツパルト友好協会 会長、理事3人
- ・公募市民 17人

○滞在先 ホストファミリーのお宅へのホームステイまたはホテル

事前研修



○研修日程

4月19日、9月6日、9月20日



3回の事前研修において、ボッパルト市の基本的な情報や訪問時のプログラムの共有、ドイツ語入門講座を実施しました

2日目 ボツパルト市内見学



市内に残る歴史的な城壁や、トーネットの家具が展示されている美術館、姉妹都市公園などを見学しました

3日目 エルツ城見学・コッヘルム散策



ドイツ三大美城のひとつエルツ城の見学および、コッヘルムの街を散策しました

3日目夜 ミッテルラインワイン祭り



ボッパルト市で最も大きなイベント「ミッテルラインワイン祭り」に参加しました

4日目 ホストファミリーと過ごす休日



日曜日はホストファミリーと休日を過ごしました
希望者はマルクスブルグ城の見学ツアーに参加しました

4日目 公式行事「青梅・ボッパルト姉妹都市提携60周年 2025」①



ハーゼンアイアー市長「このパートナーシップは、契約書や宣言だけで続いているのではありません。
両市の市民の皆さまの熱意や開かれた心、そして情熱によって、今も支えられ、育まれています。」

4日目 公式行事「青梅・ボッパルト姉妹都市提携60周年 2025」②



ローズ会長「今日こうして多くの新しい友人の皆さんを迎えられることを、とても嬉しく思います。
皆さんこそが、このパートナーシップを未来へとつないでいてくれるのです。」

ローズ会長の友人で、元サッカー日本代表の岡崎慎司さんが特別ゲストとしてお祝いに駆けつけてくれました

4日目 ボッパルト・青梅友好協会主催パーティー



式典に続いて、友好協会主催のパーティーが開かれました。
青梅市民の歌を全員で歌ったほか、東京音頭を輪になって踊りました。

5日目 ケルン・コブレンツ見学

ケルン



コブレンツ



2グループに分かれ、ケルンとコブレンツをそれぞれ見学しました
ケルンで世界遺産のケルン大聖堂など、コブレンツではエーレンブライトシュタイン要塞
などを見学しました

最終日 お別れするとき



お世話になったボツパルトの方々とお別れ的时候了
ホストファミリーとの別れを惜しみつつ、再会を誓いあいました

ホストファミリーとの時間



食事やおしゃべりを楽しみながら、かけがえのない時間を過ごしました 13

使節団員の感想

「長年にわたり築かれてきた両市の交流の歴史に触れ、改めて「つながり」の尊さを実感いたしました。現地では温かな歓迎を受け、文化や価値観の違いを越えて心が通い合う瞬間に何度も出会いました。」

「何よりうれしかったのは、我が家に3回来てくれたクラウドさんのお宅にホームステイして、奥様のニコルさんにお会いできたことです。ライン川を眺めながら過ごした楽しい時間は私にとって最高のものでした。」

「ホストファミリーだけでなく、現地でお会いしたボツパルトの皆さんがとても暖かく私たちを迎えてくださったことも忘れられません。個人旅行では味わえないものでした。」

「文化や考え方の違いを、日々のちょっとした出来事から感じ取り、驚いたり感心したり—その積み重ねがかけがえのない財産になります。若い世代がこの経験をできることの素晴らしさを改めて実感し、青少年交流の大切さを心から感じました。」

イタリア・オーメ市視察の報告



イタリア・オーメ市訪問までの経過

○令和5年2月

イタリア共和国のオーメ市長から友好都市提携を希望されていることなどを記した書簡が、青梅市に届く。

○令和5年5月

「ふじ日伊文化協会」のロサリオ・マニセラ会長が青梅市役所を訪問。

○令和5年11月

イタリア共和国のオーメ市長アルベルト・ヴァノリオ氏(他数名)が日本旅行中に青梅市を観光。

観光途中で青梅市役所を訪問し、小山副市長と面会。(旅行はプライベート)

○令和6年度

青梅市がイタリア共和国オーメ市を知るための調査を実施。調査報告書は青梅市公式ホームページに掲載。

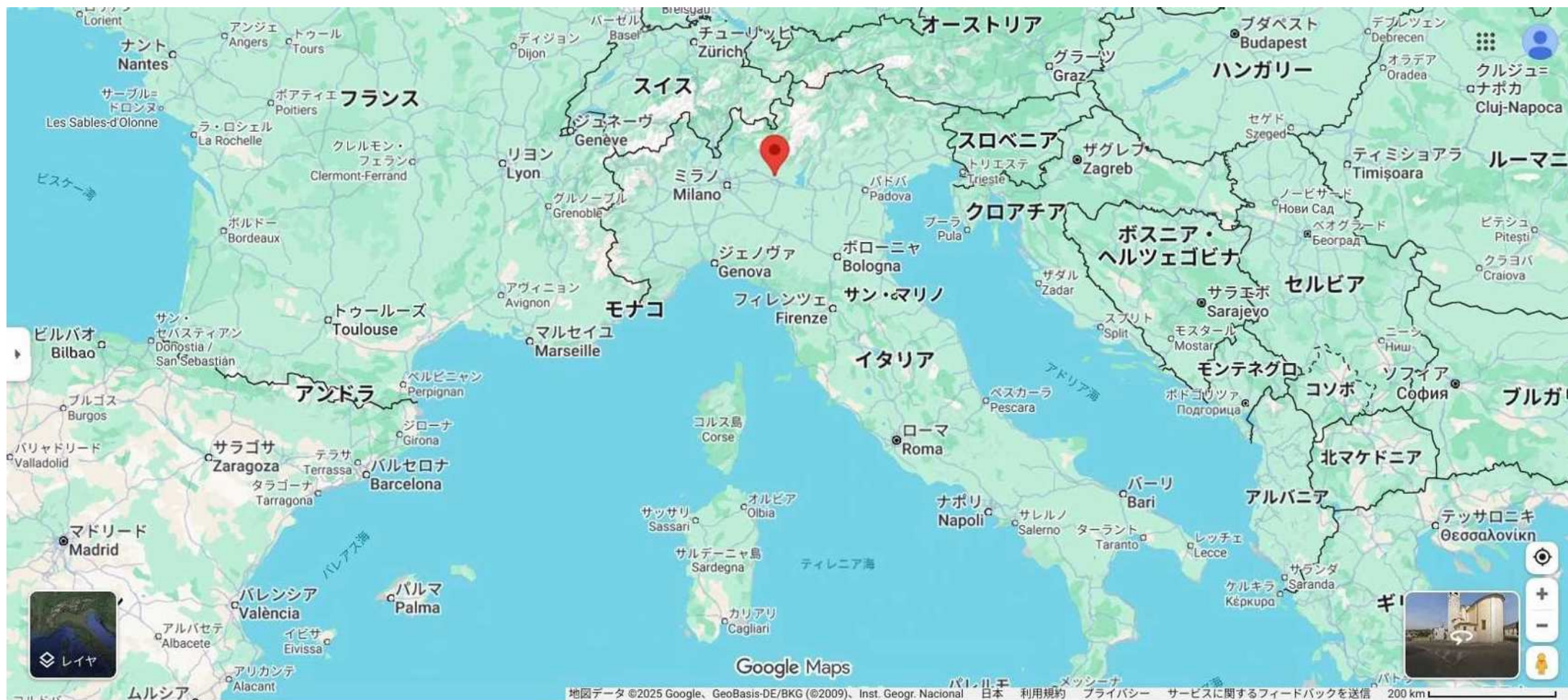
イタリア・オーメ市訪問の概要

○期間 令和7年10月7日(火)から13日(月)まで
(7日および12日～13日は移動日)

○参加者 市長、秘書広報課長、同課都市交流係長

○滞在先 オーメ市内のホテル

イタリア・オーメ市の基本情報①



オーメ市はイタリア北部のロンバルディア州ブレシア県に属する基礎自治体のひとつです

イタリア・オーメ市の基本情報②



- 中程度の高さの山や、葡萄、オリーブの畑に囲まれた自然豊かな丘陵地にあります
- 面積は9.9キロ平方メートルで、中心からほど近い地域に多くの集落があります（面積は羽村市とほぼ同じ）
- 人口は約3,000人で最近10年間では減少傾向にあります

1日目 オーメ市での歓迎式典



オーメ市役所に到着すると、すぐにアルベルト市長、ビアンカ副市長の歓迎を受けました
式典には市議会議員、警察関係者、近隣自治体の市長、在ミラノ日本国総領事館小林敏明総領事、
日伊文化協会ふじ会の方が参列されていました

1日目 市内見学



スパークリングワイン「フランチャコルタ」のワイナリー、博物館、日本庭園が設置されている植物園などを見学しました

1日目 アルピーニグループとの夕食



アルピーニグループの食事会に招かれました。
郷土料理をいただきながら、スポーツの話などで大変盛り上がりました。

2日目 市内見学



保育園、長崎の原爆を生き延びた種子から育った柿の木の庭園、研磨ディスク等を製造しているモーレマブ社などを見学しました

3日目 ブレシア市見学



ブレシア市はオーメ市が属するブレシア県の県都で人口約20万人の都市です。
ブレシア市役所の庁舎、4つの舞台があるシアター「テアトルグランデ」、ローマ時代の「カピトリウム神殿の遺跡」などを見学しました

3 日目 芸術家ジュゼッペ・ベルゴミ氏宅



オーメ市内に住んでいる芸術家ジュゼッペ・ベルゴミ氏の自宅兼アトリエを訪問しました。世界的な彫刻家で、日本の「名古屋港水族館」の入口に彼の作品があります。

最終日 市内見学



1600年代に建設された建物を活用した図書館、小川が流れ“楽園の谷”と呼ばれるコニフェーレ植物園、市内にあるもう一つのワイナリーを見学しました。

最終日 閉会式典



視察の最後に、オーメ市長の執務室でセレモニーが行われました。
4日間の視察への多大なる協力に感謝し、再会を誓いました。

オーメ市の視察を終えて



オーメ市で出会った方々に「日本のオーメから来た」と伝えると、皆さん驚きと共にとても喜んで受け入れてくれました。
なお、今回の視察において、ほぼ全ての行程にアルベルト市長とビアンカ副市長が同行してくださいました。